

都島だより

発行責任者

都島クラブ代表 (E35)

芳仲 宏

一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報

2020年(令和2年)1月 第60号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056

横浜市港南区野庭町696-6

TEL.045-841-8885

E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

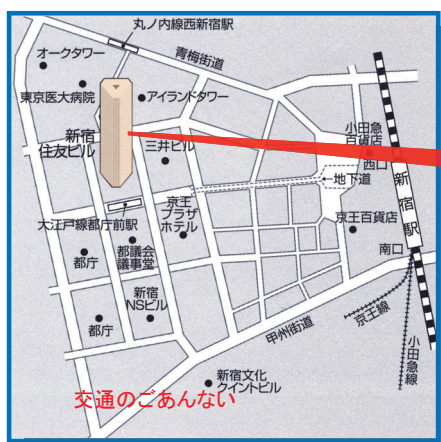
題字デザイン A28(故)岡田 宏三

NEWS60号

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ 現在会員数 ◆ 合計450名

◆M・機械87名、ME・機械電気24名◆A・建築77名◆E・電気・電子工学154名◆C・土木・都市工学35名◆CI・工業化学・理数53名◆L・普通12名◆工専8名

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ総会

新宿住友ビル47階
東京住友クラブ

にて開催します!

2020年5月23日(土)

令和2年度
総会のご案内

一般社団法人 浪速工業会 都島クラブの今年度の総会を左記の通り開催いたします。ご多忙中のこととお察し致しますが、万障お繰り合わせの上ぜひご出席ください。

●日時 2020年5月23日(土) 13時~16時

●場所 東京住友クラブ

新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル47階

TEL.03-3344-6285

●親睦会費 7,000円(女性会員は4,000円)

新規卒業の会員は無料

※同封の返信はがき又はEメールにて、
3月31日までに申込み下さい。

講演会を開催します

東南アジアの遺跡・寺院を訪ねて?

カンボジア、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、タイ、ラオス
に於ける遺跡と街並み風景の紹介

第7回MMSで発表した内容を要約し、東南アジア各地の遺跡や寺院、街並みなどを写真で紹介いたします。アンコールワット、バガン、プランパナン、ボルブドール、タナロット寺院、ハノイ、ダナン、ホイアン、チェンマイ、チェンライ、ルアンパバン、ホーチミンなど。



講師: A57 信原 利行氏

同期・先輩・後輩お誘いあわせの上
多数ご参加ください

昨年度の総会ご出席者

来賓	高見 積 理事長、柘原 康友 学校長			
機械科	M34石川芳夫 M42山口忠雄	M34太田静三 M53吉川賢司 (副理事長)	M36西村 功	M42前田範行 6名
機械電気科	ME40松本良治 2名			
建築科	A28酒井 保 A48田淵成明 A52平林 孝	A37森 芳信 A57信原利行 (総務部長)	A44水守恵子 A59尾川浩之	A47西口勝臣 H05黒川信弘 9名
電気科	E30三田義治 E36石垣英明	E35田中 浩 E36馬江治喜	E35芳仲 宏 E36笹治博司	E36赤尾仁史 E36竹村繁幸 8名
土木科	C33明見和彦 C37渡辺清風 2名			
工業化学科	CI32松井駒治 CI40菅家亘通	CI34柴田幸次 CI45藤原啓治 (広報部長)	CI37五十嵐三喜雄	5名
参加者31名+来賓2名 合計33名				



昨年度総会写真 (令和元年5月11日)

最高裁判所見学



E35 芳仲 宏



令和元年10月10日(木) 東京都千代田区にある最高裁判所の庁舎見学会が開催された。開催に漕ぎ着けるまでの裏話を少しさせて下さい。見学の話が出たのは5月初旬で、開催予定が10月でMニュースで事前告知するには、どうすれば良いかと迷いました。最高裁は電話による事前予約を見学希望日の「2週間前から前日」迄に求められ、事前予約は、電話の先着順となっていた。幹事会で、取り敢えず10月1日の開催予定を決めてMニュース原稿を作成し電話予約を2週間前の9月17日定刻9時に電話したが、なかなかつながらず、やっとつながったら10月1日は庁舎改修工事の都合で中止となり次回見学会は10月10日との由で2週間前の9月26日に再度電話して、なんとか10月10日の見学予約が取れた次第です。都島クラブ事務局より、10月1日参加申込者に、10月10日に変更になった旨をメール連絡して、最終的に10名の参加で見学会が開催出来ました。

見学会は、セキュリティチェックを受けた後、裁判所業務を説明したリーフレット「裁判所ナビ(NAVI)」が配布された。最高裁判所広報課の女性職員から、庁舎の大ホール、大法廷の説明を受けたが、ここでは、大ホールにあった、2体の彫刻の紹介をさせて頂きます。大ホールは、森をイメージしたレリーフが備わった半円形で設計され、ガラス天井から自然光が差し込む作りになっている。大ホールに展示されている「椿咲く丘」像(作者・富永直樹)と「正義」像(作者・圓鏝勝三)の2つのブロンズ像があった。写真撮影が禁止されていたので、イメージを把握したい方は、web検索すると出てきます。「椿咲く丘」像は、椿の花が咲く丘のベンチに仲良く座っている男の子と女の子のブロンズ像で、愛と平和をイメージして作られ、公平な裁判によって世の中のもめ事をなくし、皆が仲良く平和に暮らせるようにとの願いが込められているとの由です。「正義」像は、左手に天秤、右手に剣を持ち、ギリシャ神話の法の女神「テミス」をモデルとして作られている。左手の天秤は「公平・平等」を、右手の剣は「公平な裁判によって正義を実現する」という強い意志」を表しているそうです。「ギリシャ神話では、右手には正邪を断ずる剣を掲げ、左手には衡平を表す秤(はかり)を持つとされている。」背景が薄暗かったので、一瞬、仏像の様な印象を受けた。尚、この像には、種々なバリエーション(目隠しした像、天秤と剣の形、持ち方、位置等や、ギリシャ神話、ローマ神話の差異等)がある。「椿咲く丘」像の富永直樹は長崎出身、「正義」像の圓鏝勝三は広島出身だが、長崎、広島出身の彫刻家による2作品が大ホールに展示されているのは偶然であり、広島・長崎から想定される特別な理由はないとの説明があった。このような説明があると、かえって、日本人は色々と想像してみたくなるものです。2つの像を鑑賞した後、大法廷を見学した。大ホールの説明も簡単で、民事裁判、刑事裁判の言葉は出てきたが、詳しくは、配布された「裁判所ナビ(NAVI)」を見なさい

ということ、見学内容は省略します。尚、「裁判所ナビ(NAVI)」は、検索すれば容易に見ることが出来ます。見学会の後には、近くの全国町村会館の「ペルラン」で、懇親会を開催した。懇親会には、昭和20年代卒の大先輩も参加され、大いに盛り上がった。今回の見学会にも、多くの大先輩が参加されることを希望して、ペンを置きます。

都島クラブ・見学会

2019. 10. 10最高裁判所見学



最高裁判所玄関前にて集合写真

夏の日の宴



A27 田中 瑛也

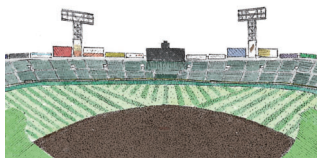


例年、盛夏の中、甲子園で催される全国高校野球大会は、本年は大阪府代表、履正社高校が優勝した。八月が来ると、思い出すのは昭和二十年八月十五日終戦の日と昭和二十六年八月全国野球大会に母校が出場した事である。母校、都島工業高校は、強豪 平安高に準々決勝で戦い、延長10回 1対0で惜敗した。アルプススタンドの席から、満員の観衆の中を売り歩く行商から買った、かち割りの氷を、口にはほほはつての



昭和26年8月 全国高校野球大会試合経過

汗だくでの声援を送った。記憶は時としてよみがえる。当時と現在では、大会の出場校も多く、野球の技術もレベルアップしたので、後輩に出場への夢を託すしかないが、はるか彼方に感じられる思いになる。是非実現への望みを抱く。話しはそれだが、当時は、完全に日本は独立国家でなく、昭和二十六年九月八日に日米間に平和条約が結ばれて、始めて独立国家となった。教育面にも、米政府の方針が反映されている。恩師 奥山先生の手記『都工物語』にも記されているが、私の記憶に、誤りがなければ、社会英語等の教科等は、本人の選択で、土木、建築機械、電気の各科の生徒が選択して合同で受講した。その科目を受けた他科の生徒の中に甲子園のグラウンドで、出場選手もいた。彼等と机を並べて学んだ思い出も、一種の躍動感を憶えたものである。現在も折に触れて若き、青春の一ページの思い出によりそう。参考までに、昭和二十六年八月の全国高校野球大会の試合経過を添付しますので、母校の優雅な足跡を偲んでいただきたい。



第7回MMS 都島クラブ・ミーティングサロン参加報告

A47 西口 勝臣

東南アジアの遺跡・寺院を訪ねて

MMS 07 報告

MIYAKOJIMA CLUB MEETING SALON

10月25日(金)に、有楽町の帝劇ビル地下にある【六甲クラブ】にて、第7回MMS「東南アジアの遺跡・寺院を訪ねて」が開催されました。今回の講師はA科57年卒の信原利行氏で、総勢10名が参加聴講しました。建築設計を生業とする信原氏が、その魅力に魅せられて、これまでに訪問された東南アジア6カ国(カンボジア、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、タイ、ラオス)の、単なる観光地巡りではない、遺跡や寺院に特化した講演でした。それらの建築および装飾の特徴を、その源となるその国の主要宗教との関係を交えて、写真を中心に分かりやすく説明していただきました。画像「東南アジアMAP」(写真1、2)は、その一部を今回の氏の資料から引用させていただいたものです。同じ仏教でも、「大乘仏教(どんな人でも救われる大きな乗り物のような教え)」と、「小乗仏教(出家して厳しい修行を積んだ僧侶だけが救われる小さな乗物のような教え)」がある訳ですが、その思想の違いが寺院建築様式に現れているとの事でした。なお、各国の主要宗教は写真3の画像のようになっていそうです。信原氏が初めて東南アジアを訪れたの20年前、JIA(日本建築家協会)主催のカンボジアアンコールワットツアーとのことで

したが、その後1〜5年間隔で合計7回行かれたそうです。そんな中2002年に行かれたJIAのアジア探訪ツアーでは、都工大先輩のA科27年卒・田中瑛也さん(写真4)が団長で、現地で直接レクチャーを受ける機会に恵まれたと、懐かしそうに話されていました。

なおMMSの終了後は、参加人数は少なかつたそうですが、懇親会を近くの店で実施されたそうです。

東南アジアMAP (インドシナ半島)



写真1



東南アジアMAP (インドネシア)

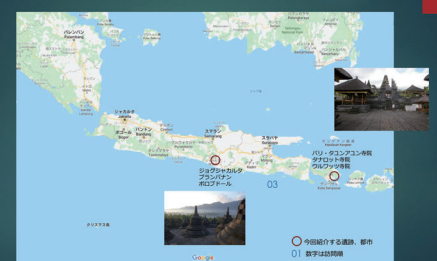


写真2



写真3



写真4

MMS講師・テーマを募集

MMS実行委員会

MMSの講師と聞いてみたいテーマを募集しています。講師をやってみたい方や皆様のご意見を是非事務局・馬江氏までメール等でお知らせください。

皆様の参加をお願いします

MMS08 御案内

第8回MMS開催のご案内

MMS事務局

第8回MMSを左記の通り開催致します。先輩や後輩が技術を題材としたこれまでの経験、伝承したいことを語り、後輩においては各分野での現状報告や最新の状況を先輩に伝えることを目的とし会員間の親睦を図ります。ミーティング終了後は付近での懇親会を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

講師 M41 米田 博美氏

内容 『スペイン語とスペインの魅力』

開催日 4月3日(金) 18時30分〜20時30分

開催場所 六甲クラブ・帝劇ビルB2

会費 2000円(懇親会費別)

申込締切 3月20日(金)

申込方法 事務局・馬江氏まで科、卒年、氏名を電話、FAX又はEメールにて御申込み下さい。

TEL・FAX 045-841-8885

Eメール har1942umae@iris.ocn.ne.jp



★次回MMS★ 2020年4月3日(金) 18:30開催

スペイン語とスペインの魅力

★米田 博美氏 (M41) 略歴

昭和41年 (1966) 大阪市立都島工業高等学校 機械科卒業
昭和46年 (1971) 天理大学外国語学部イスパニア学科卒業
昭和47年 (1972) マドリード・コンプルテンセ大学文哲学部留学

昭和55年 (1980) 青山学院大学経済学部第Ⅱ部経済学科卒業
昭和49年 (1974〜2014) メキシコ大使館公式翻訳官としてメキシコ外務省入省

昭和58年 (1983) 青山学院大学、駒沢大学兼任講師(30年間両大学に勤務)
平成26年 (2014) 神奈川大学外国語学部スペイン学科兼任講師 現在に至る

2013年「A&H翻訳サービス」(日英独仏中スペイン語)を大学教員と結成し、主に日本語―スペイン語―日本語の経済関係の翻訳業務を行う。
日墨関係等を主とした論文、訳書、出版物等を発表
日本ラテンアメリカ学会会員

10月12日(土)に予定されていた青薨会2019イベントである見学会は台風19号の影響を受けて已む無く中止となりました。見学タイトルはガラスの茶室・光庵見学と新国立美術館建物と美術鑑賞でした。ガラスの茶室・光庵は新国立美術館の玄関付近で展示されているもので、展示期日を調べたところ、2021年5月まで展示されていることが判りました。よって今年度の青薨会の見学会は9月から11月の間と同様の企画でリベンジ開催をしたいと思えます。詳細は次号Mニュースでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。



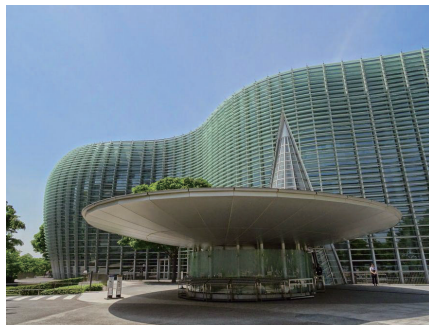
2019見学会 は2020年に順延します



ガラスの茶室・光庵



『ガラスの茶室・光庵』見学 & 国立新美術館建物と美術鑑賞



国立新美術館外観

青薨会

台風19号の影響で中止
となった青薨会見学会

A57 信原 利行



くたち自遊工房にて

第20回陶芸会 を開催しました



参加者の作品

毎年恒例の青薨会主催の陶芸会が9月7日(土) A46 柚木寿雄氏の「くたち自遊工房」にて開催されました。陶芸会は2000年より毎年開催され今回は20回目の開催になりました。参加者は5名+1名で、初参加のA49年卒日野口徹さんが親子で参加されました。13時半から約4時間程かけて陶芸制作をした後、工房で当日開催される「小さな飲み会」に有志にて合流参加し盛り上がりしました。作品は乾燥、釉薬掛け、焼成の工程を工房で行ない12月に作品を受け取りました。

第20回陶芸会参加報告

A57 信原 利行



HIT STUDIO TOKYOにて



熱唱中の五十嵐氏と成世氏

年の瀬も押し迫った12月16日、昨年より場所・構成を新たに開始した成世昌平氏(CI科45年卒堀辺 茂樹氏)の東京駅八重洲口のHIT STUDIO TOKYOにて開催の合同ファンミーティングに参加しました。本部の藤原広報部長よりのご案内で、昨年は12月に入つての案内で、会員の皆様へ連絡する時間がなかったのですが、今回は早めにご連絡を頂きメールで都島クラブ会員の一人の人に連絡しました。今年はCI科37年卒五十嵐さん、CI科40年卒菅家さんのご出席を頂き3名で参加しました。前座に六本木ヒロシさん、竹川美子さんの出演があり、最後の執りに成世昌平さんが出演しました。数曲持ち前の唄を披露した後、12月14日に公益財団法人日本民謡協会より名人位を受賞されたことの発表があり、場内割れんばかりの大きな拍手で祝しました。最後にカラオケタイムとなり、五十嵐さんが挙手して、じゃんけんに勝ち、成瀬さんのヒットソング「はぐれコギリコ」の最後の3番を舞台上がって日頃の「のど」を披露しました。来年はもっと早く事務局へ連絡いただければMニュースにも記載して、会員の皆様へ連絡いたしたく思います。

成世昌平氏・合同ファン ミーティングに参加して

E36 馬江 治喜

計報

M18・12年卒 中村 清氏 2018年12月
A25年卒 西阪 勲氏 2018年8月
E32年卒 堀 隆志氏 2015年1月
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

※Mニュース59号の計報欄で誤記がありました、おわびと共に下記に訂正をさせていただきます。

誤A20年卒 尾原 康夫氏 2017年1月
正A17年卒 尾原 康夫氏 2017年1月

事務局メールアドレス

har1942umae@iris.ocn.ne.jp

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ事務局・馬江 治喜

次号のMニュースは令和2年7月
発行予定です。

事務局までお送り下さい。
皆様の原稿をお待ちしています！

Mニュース原稿募集

事務局より

Mニュースの原稿が不足しています。思い出体験談など自由なテーマで原稿をEメールで事務局までお送りください。

11月17日東京浅草見番にて、桂 米左氏(A科59年卒 木村 桂氏)の東京公演がありました。今回で22年連続開催となり、昨年は東京調布市での公演もあったのですが、今年は浅草見番のみとなりました。演目は『崇徳院』と『猫の忠信』の2席でした。本当に気楽に大阪のお断を聞くことが出来て久しぶりに楽しい思い出をいたしました。只都島クラブより総勢5名の参加で少し寂しい気がしました。Mニュースの7月号には案内を記載しておりますので、多数のご参加を期待しております。



独演会



第22回 桂 米左

独演会に参加して

E36 馬江 治喜